

月刊 やちまなこ

2020. 6.15 発行

No.271

6 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

新緑の湿原を彩る花たちも日ごとに増え始め、初夏の陽射しの下では、エゾハルゼミの鳴き声がうねるように辺りから聞こえて来る。朝霧が消えた湖面は鏡のように周りの景色を映し出していて、時折小魚が跳ねる様子をどこで見ていたのか、湖岸や上空に姿を見せ始めた。先日もトビが捕えた魚をオジロワシが追いかけ、右へ左へ急旋回急降下を繰り返している姿は、まるであおり飛行だ。その羽音は見ている方にもはっきり聞こえ、どのくらい時間が経っただろうか、それは一瞬だった。トビの嘴から魚が離れ、地上へゆっくり落ちた瞬間、突然カラスが現れ奪い去った。湖には再び静寂が戻った。



塘路フィールドノート【5/15～6/14】

【野鳥】

過去の記録が少ない種が見られたり、特定の種が例年より多く見られたりと話題豊富な今シーズンの夏鳥たち。初夏を迎え、夏鳥はほぼ勢ぞろいの塘路湖畔ですが、今年はまだまだ意外な出会いが待っているかもしれません。



ツバメ（塘路湖畔）

センターの屋根から飛び立つ瞬間。今年は5月中旬～下旬の数日だけ姿が見られました



ショウドウツバメ（塘路湖畔）

今年はよく見かけます。通常悪天時に見られることが多く、青空を飛ぶ姿は珍しいです



オオジュリン（シラルトロ湖畔）

藪の中から近くの枝に上がってきたところ。主に湖畔近くの樹上やヨシ原で見られます



ウグイス（塘路湖畔）

芽吹き始めた若葉の間から姿を覗かせる♂。ホーホケキョの声が響き渡っていました



センダイムシクイ（シラルトロ湖畔）

チヨチヨビィーの声が大きくなってきました。今年も期待を裏切らない賑やかさです



クロジ（塘路湖畔）

駐車をうろついていた♂。塘路湖畔では稀な種ですが、5月中は普通に見られました

【植物】

塘路湖畔の初夏は白い花の季節。他の季節であれば脇役に回ることが多い白い花も、この季節に限っては、赤や黄色の花を差し置いて主役級の存在感を放ちます。新緑を迎えた樹々と白い花。優しい色彩が塘路湖畔を彩ります。



オオバナノエンレイソウ（塘路湖畔）
塘路湖畔の春を代表する花。それほど個体数は多くないものの、その存在感は圧倒的



コンロンソウ（塘路湖畔）
開花はやや遅れましたが、その後一気に開花。樹林下や草原など多様な環境で見られます



フタマタイチゲ（塘路湖畔）
センター前の湖岸で多く見られます。柔らかな雰囲気の花が緑の草原によく映えます



エゾクサイチゴ（蝶の森）
今年も例年どおりたくさんの花を咲かせました。草原に広がる白い群落は圧巻です



ツボスミレ（塘路湖畔）
塘路湖畔で最も個体数が多いスミレ。気が付かないうちに一気に開花していました



オオカサモチ（サルボ展望台下）
この時期に咲く白い花の中では最大級の大ささ。ちょうど見頃を迎えていました



エゾノコリンゴ（塘路湖畔）
ちょうど花盛りの頃。今年は絢爛豪華な咲きっぷりの木が他にも数本見られました



ナナカマド（塘路湖畔）
国道などの道路沿いで多く見られます。ふんわりした花が風景に優しい印象を与えます



ミツバウツギ（サルボ展望台下）
純白の花を枝いっぱいにつけていました。花と緑の葉とのコントラストが印象的です

◎昆虫の季節

6月も中旬を迎えた塘路湖畔では、昆虫たちの活動が活発になってきています。5月の中旬から下旬にかけて気温の低い日が続いた影響からか、6月に入ってもなかなか姿を現さなかった昆虫たちですが、中旬になって最高気温が25℃を超えるような暑い日が増えてきたことで、一気に活動を始めたようです。

湖畔に降り注ぐエゾハルゼミの大合唱に新緑の風景の中を飛び交うトンボやチョウ。昆虫たちが塘路湖畔に初夏の到来を告げています。



エゾハルゼミ



ベニシジミ



ヨツボシトンボ



コサナエ（連結）

◎さえずりに耳を澄ませて

6月6日(土)、シラルトロ湖畔で、「新緑の湿原 野鳥観察会」を開催しました。新型コロナウイルス対策のため、4月以降、観察会の中止が続いていたので、これが令和2年度最初の観察会となりました。

新緑を迎え、野鳥の姿を捕らえづらくなるこの季節。講師の方から野鳥の声の特徴を教わりながら、みんなで耳を澄ませて声を頼りに野鳥の姿を追いました。この日はエゾハルゼミの大合唱が響き渡っていたものの、夏鳥やカラ類の鳴き声もまた元気で、それぞれに特徴ある野鳥たちの鳴き声を多く聞くことができました。さらに、上空にはオジロワシ・ダイサギ・アマツバメが飛び交うなど、この時期の観察会としては過去最高レベルの28種の野鳥を観察できました。(今回の観察会では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者全員のマスク着用、観察中の社会的距離の確保などの対策を実施しました) 参加者10名



樹上のセンダイムシクイを観察

7月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

縄文土器作り講座

[日 時] 7月4日(土) 10時～14時
[定 員・参加料] 10名 350円(材料費)
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター
◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

バードカービング展

[日 時] 7月19日(土)～8月10日(祝)
10時～17時 見学無料
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター
◎問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

夏の花を見に行こう

[日 時] 7月5日(日) 10時～12時
[定 員・参加料] 10名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

ホタルの週末

[日 時] 7月24日(祝)～26日(日)
19時30分～21時
[定 員・参加料] 20名 無料
[開催場所] 温根内ビジターセンター
◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 5/15(3:58,18:39). 5/31(3:46,18:22). 6/14(3:59,18:54)

～編集後記～

■釧路湿原にカッコウが鳴き、初夏の訪れを告げています。いよいよ本格的な観光シーズンを迎えますが、今年は例年より人影は少ないようで、残念ながら各地でイベントなども相次いで中止となり、人の動向が気になるところです。そんな静かな環境の下、散策しながら、心機一転してみたいいかがでしょうか?その際には熱中症対策もお忘れなく。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月:16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料